

試験に出る公式(3)

【14】 利回りの大小関係

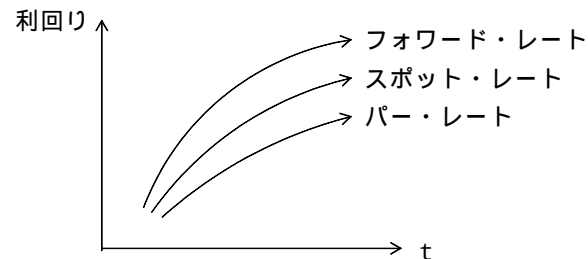
パー・レートは、大雑把に言ってスポット・レートの加重平均値である。

- *イールド・カーブ右上がり：スポット・レート > パー・レート
- *イールド・カーブ右下がり：スポット・レート < パー・レート

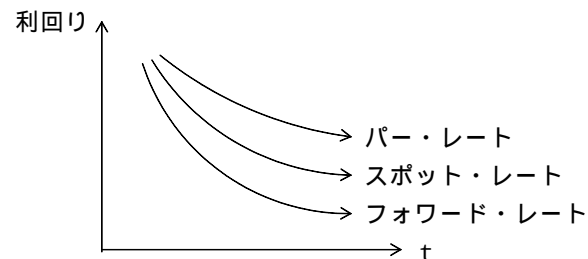
スポットレートは、フォワードレートの加重平均値である。

- *イールド・カーブ右上がり：フォワードレート > スポットレート
- *イールド・カーブ右下がり：フォワードレート < スポットレート

[順イールドの場合]



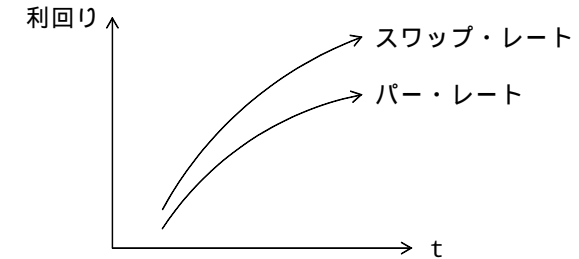
[逆イールドの場合]



【15】 パー・レートとスワップ・レート

パー・レートはデフォルトのないパー債券の利回りである。スワップ・レートはデフォルトのある金融機関同士のスワップ取引において変動金利と交換される固定金利であるから、リスク・プレミアムを含んでいる。

$$\text{スワップ・レート} = \text{パー・レート} + \text{リスク・プレミアム}$$



問題 No. 16 利回り曲線

次の各問に答えなさい。

問1 利回り曲線に関する次の記述のうち、正しいものはどれですか。

- A 右上がりの利回り曲線は逆イールドと呼ばれ、順イールドと比べると一般的に出現頻度は低い。
- B 1年後スタートの1年フォワード・レートとは、1年後に1年満期の割引債を購入する取引を現在決める際の割引率なので、金利の先渡し契約における金利ともいえる。
- C 国債のパー・イールドは、新発国債の発行年限が限られているため観察するのは難しいが、信用リスクが同等のパー・イールドであるスワップ金利で代替できる。
- D スポット・イールド・カーブが右上がり的时候、パー・イールド・カーブはスポット・イールド・カーブより上に位置する。

問2 利回り曲線に関する次の記述のうち、正しくないものはどれですか。

- A スポットレート・カーブが右上がり的时候、フォワードレート(1年もの)カーブはスポットレート・カーブより上に位置する。
- B スポットレート・カーブが右上がり的时候、パーイールド・カーブはスポットレート・カーブより下に位置する。
- C 純粋期待仮説が成立しているならば、スポットレート・カーブが右上がり的时候は、短期金利は今後上昇すると予想される。
- D 逆イールド的时候は、長期債の利回りは短期債の利回りより高い。